

2025 年 8 月 18 日

株式会社 A C S L

ACSL 製長距離飛行マルチユースドローン「PF4」、 モンゴルでのフードデリバリー試験に採用

- ACSL 製長距離飛行マルチユースドローン「PF4」がモンゴルのウランバートル市近郊で実施されたフードデリバリー試験飛行に使用された
- PF4 は物流を中心とした新型マルチユースドローンで、最大 5kg の荷物を 40km 輸送可能
- ACSL は、物流分野におけるドローンの社会実装を通じた「持続可能な物流」の実現への貢献を目指す

株式会社 ACSL（本社：東京都江戸川区、代表取締役 Co-CEO：早川研介・代表取締役 Co-CEO：寺山昇志、以下、ACSL）の長距離飛行マルチユースドローン「PF4」が、2025 年 7 月 25 日にモンゴルのウランバートル市近郊で実施されたフードデリバリーの試験飛行（以下、本試験）に使用されましたので、お知らせいたします。

■長距離飛行マルチユースドローン「PF4」

PF4 は、物流を中心に様々な用途での運用を可能にする、革新的な産業用マルチコプターです。5kg のペイロード搭載時に 40km の飛行が可能な長距離飛行性能の他、高い着陸精度及び耐風性能、全天候対応など先進のフライト機能を備えています。

モンゴル国内では、血液及び血液製剤の配送事業の定常運航に使用されているほか、2025 年 6 月に実施された郵便物配送試験に用いられる等^{※1}、物流領域における実績を積んでいます。

なお、PF4 はこれまで限られたパートナー企業にのみ販売を行っていましたが、2025 年 7 月 22 日付け「ACSL、長距離飛行マルチユースドローン「PF4」の量産を開始」^{※2}のとおり、2025 年 10 月より量産を開始し、より多くのお客様にお届けすることを予定しております。



長距離飛行マルチユースドローン「PF4」

■試験の概要

本試験は、株式会社エアロネクスト（本社：東京都渋谷区、代表取締役 CEO：田路圭輔、以下、エアロネクスト）とエアロネクストのモンゴル展開パートナーである Newcom Group（本社：モンゴル国ウランバートル市、CEO：B.Baatarmunkh）、Newcom Group の子会社である Mongolian Smart Drone Delivery LLC（本社：モンゴル国ウランバートル市、CEO：M.Otgonpurev）、モンゴル国内最王手のフードデリバリー事業者 Tok Tok LLC（本社：モンゴル国ウランバートル市、CEO：C. Dolgorsuren）により、2025 年 7 月 25 日に実施されました。ウランバートル市内のモンゴル国立輸血センターから、Newcom Group が所有するウランバートル郊外の研修・保養施設「サマーハウス」までの片道約 16.5km のルートを PF4 が自動飛行し、フードデリバリーアプリ「TOK TOK」で注文された総重量 2,420g の料理 6 品を配送しました。モンゴルでのドローンによるフードデリバリーの試験飛行は本試験が初となります※³。

本試験では日本での「レベル 4（有人地帯における補助者なし目視外飛行）」に相当する第三者上空における自動航行による飛行を実施しました。また、飛行ルートは長距離かつ離陸地点と着陸地点の高低差が約 200m に及ぶ地形でしたが、河川上空を飛行ルートに設定することで安全性を確保し、また PF4 が長距離かつ複雑な航路においても安定した飛行を実現したことで、試験を成功させることができました。



フードを載せウランバートル市内から
郊外のサマーハウスに向け飛行する PF4



ドローンで届いた出来立ての料理を食する様子
と TokTok ラッピングの PF4 専用箱
（サマーハウス前の広場）

A C S L は、物流分野におけるドローンの社会実装を通じた「持続可能な物流」の実現に向けて、PF4 をはじめとした機体開発や運用支援等の取り組みを進めてまいります。

※1 [A C S L 製国産ドローン「PF4」、モンゴルでの郵便物配送試験に採用](#)

※2 [A C S L、長距離飛行マルチユースドローン「PF4」の量産を開始](#)

※3 2025 年 7 月時点 エアロネクスト調べによる

エアロネクストのプレスリリース：

[モンゴル初のドローンによるフードデリバリーに成功 ～往復 33km のウランバートル市内から郊外のサマーハウスの試験飛行実施で、血液輸送、郵便輸送に続く新たなユースケースを開拓～ | エアロネクスト](#)

【株式会社 A C S L について】 <https://www.acsl.co.jp/>

A C S L は、産業分野における既存業務の省人化・無人化を実現すべく、国産の産業用ドローンの開発を行っており、特に、画像処理・AI のエッジコンピューティング技術を搭載した最先端の自律制御技術と、同技術が搭載された産業用ドローンを提供しています。既にインフラ点検や郵便・物流、防災などの様々な分野で採用されています。

【このニュースリリースへのメディアからのお問い合わせ】

株式会社 A C S L 広報担当 (Tel : 03-6456-0931 Email : pr@acsl.co.jp)

以 上